



4ビットLVTTL-GTL変換トランシーバ GTL2014PW

Last Updated: Apr 11, 2025

GTL2014は、3.3 V LVTTLシステム・インターフェース向けの4ビット変換トランシーバで、GTL-/GTL/GTL+/バスを備えています。GTL-/GTL/GTL+は、GTLバスのリファレンス電圧とそれに関連する入出力電圧のしきい値を表しています。

この製品は、方向ピンにより、GTLからLVTTLに変換するサンプリング・レシーバまたはLVTTLからGTLに変換するインターフェースとしても機能します。

GTL2014のLVTTL入力（のみ）は最大5.5 Vトレラントであるため、TTLまたは5 V CMOS入力に直接アクセスすることができます。LVTTLの出力は5.5 Vトレラントではありません。

GTL2014のGTL入力と出力の動作電圧は最大3.6 Vであるため、デバイスをより高電圧のオープン・ドレイン出力アプリケーションで使用することができます。

GTL2014は、GTL2005のピンとの下位互換性があります（AポートとBポートのラベルは入れ替わっています）。GTL2014のV_{ref}は、低電圧CPUでは最小0.5 Vまで追従し、伝搬遅延時間はわずかに長くなります。一方で、GTL2005のV_{ref}は、0.8 V未満では直線性が劣化し、伝搬遅延時間は短くなります。

GTL2014 Block Diagram

GTL2014

B0

A0

B1

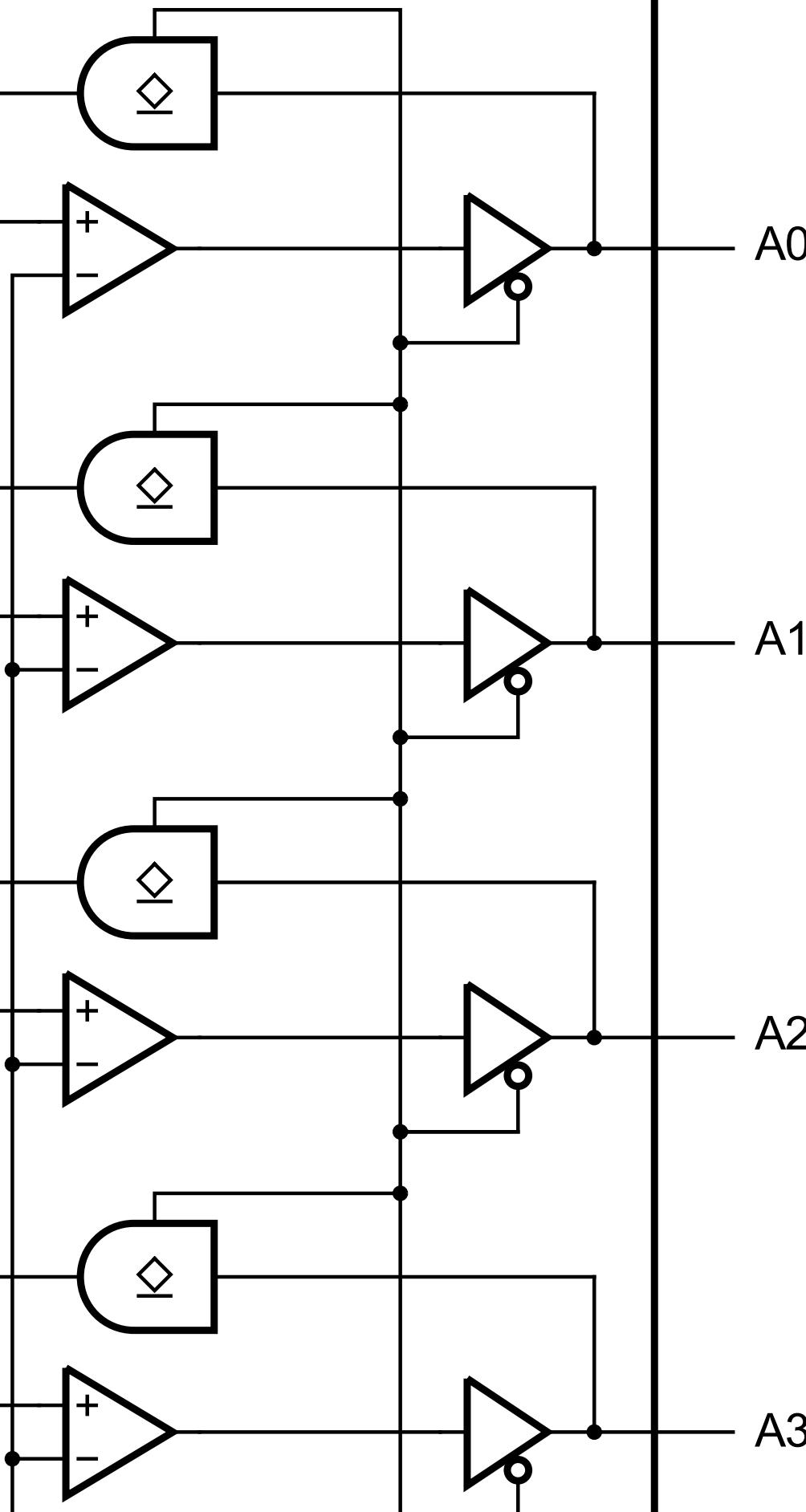
A1

B2

A2

B3

A3



[View additional information for 4ビットLV TTL-GTL変換トランシーバ.](#)

Note: The information on this document is subject to change without notice.

www.nxp.com

NXP and the NXP logo are trademarks of NXP B.V. All other product or service names are the property of their respective owners. The related technology may be protected by any or all of patents, copyrights, designs and trade secrets. All rights reserved. © 2025 NXP B.V.